

# 子供の町 だより

創刊 昭和24年11月  
発行 社会福祉法人 子供の町  
児童養護施設  
子供の町  
エンジェルホーム  
住所 〒344-0112  
埼玉県春日部市  
西金野井 337  
TEL 048-746-0206  
FAX 048-746-9215

## 夏の終わりに

社会福祉法人 子供の町  
理事長 田中 文男

今年も子供の町の「夏祭り」に参加した。(こののために基平さんを買いました) 普段おとなしい子ども、やんちゃな子ども、この日ばかりはと楽しそうに飛び廻っている。幼児に手を引かれ、指導員さんがつくる焼そばを食べたかと思うと、次は春日部市在住の外国人ボランティアグループの屋台に行き、本場インドのカレーを食べる。次は韓国のお好み焼き、ちじみを2枚も食べました。野田市の園芸家のご主人がつくったブルーベリーのジュースもたっぷり飲んだ。

多忙な時間を割いてお出かけ下さった小学校の校長先生とも口を動かしながら語り合う。「子どもたちの笑顔がいいですね」とおっしゃって下さった。また、当法人に勤務する心理士の恩師、大学教授の方々とも、今日の見童心理についてお話を伺うことができた。更に常々、子どもたちの良きお兄さん、お姉さんを務めてくれている文教大学のボランティアの学生さんたちとも握手に次ぐ握手。その前を横切るのは数日前、私と富山の立山に行った子のひと

り。何と登山服姿ではなくタイ風の民族衣装に身を包み、ちょっぴりはにかんでいる。「雷鳥見たよね」と嬉しそう。



そして結びは神輿のご登場。祭礼の半てんを着た幼児たちが夏の終わりが近くなった夜空に届くように、「ワッショイ!、ワッショイ!」と元気な声ではしゃぎまわる。それにしても、休日を返上してここまでお膳立てをしてくれた職員の皆さんに、ただただ感謝。「ありがとう!」と言ったら、ほろりと涙を浮かべてくれた。

祭りが終わるとすぐに九月。新学期が始まる。中3は進路を決め、高3は自分の力で自分の人生を割りださねばならない。この子どもたちのために、私に何ができるのか、何をしなければならないのか、夜空を見上げながら考える。

私の大学時代、自分の血を売りながら勉学を続けた友人もいた。土木作業を続けながら大学院へ進んだ仲間もいた。教室でいつも眠っていたくせに、高校教師になった友もいた。当時とは時代が異なるとはいえ「人間は一人では生きていけない。多くの人の支えが必要なんだ。そのためには多くの友を作ろ

うよ」という私のささやかな体験を、はしゃぎ回っている子どもたちにどう伝えるか、その責任は重い。「年ですから！」などと逃げ口上を言わず、真正面から子どもたちと向き合い、生きる目標を、未来を創るための手段を一緒に考えていかねばならない。なぜなら、立山のキャンプファイヤーで火の神を演じた私は、参加した子どものために、少しでも幸せになれるよう、努力すると誓ったのだから。

安全な物理的環境、それを支える職員資質の向上、公平な施設支援制度、人員配置などどれをとっても重い課題です。

日々の生活に追われ、嵐のように過ぎていく毎日、問われる課題への回答がなかなか見いだせないことも多くあります。一つひとつ対応していることが決して無駄ではないことを信じて子供たちと向き合いたいものです。

「継続性」

児童養護施設 子供の町  
施設長 堀江 清人

社会福祉法人子供の町も今年で創立65周年を迎えました。数限りない努力と奮闘と喜びがあったことでしょう。ここに来るまで支えて下さった役員の皆様、関わりをもって下さった職員の皆様、そして周囲の皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

これまでに子供の町とエンジェルホーム（旧虚弱児施設子供の町を含む）を併せますと3000人を超える子供たちがこの子供の町で生活をし、家庭へ、そして社会へと巣立っていきました。昭和25年開設の子供の町クリニックも脈々と受け継がれ、子供たちの健康管理を支えて下さっています。

こういった卒園生の中には、若い人ばかりでなく60才・70才を超えた方が今でも懐かしさを胸に訪ねて来られたりもします。古い写真や施設だよりを見て、当時こんな職員がいた、あんな子がいたと、当時は振り返ります。本当はお互い辛かったらと思うのですが、長い年月を経て思い出に変わったのだらうと思います。

平成25年度の全国の児童相談所での被虐待相談件数が7万件を超えました。児童養護施設で暮らす子供たちの半数以上が被虐待体験を持ち、不適切な環境下で養育され、児童養護施設においては、社会的養護の充実と養育環境の改善が求められています。安心



職員としての資質の向上、子供との向き合い方、自主的な学習、そして目標を持って子供と関わりを持つ職員方の取り組みの一面です。

「CSP研修を通して」

インジ エルホーム 高橋 育弘  
インジ エルホーム心理士 安藤 真知子

昨年度、初めての試みとして施設内でCSP（コミュニケーション・ペアレンティング）研修を開催させて頂きました。当初は自身の勉強のためとしてトレーナー資格を取得したのですが、自分自身がCSPの新たな視点で問題の整理ができたり、実践してみて「すぐにプラスが見えなくてもマイナスにはならないのでは？」と感ずることがあり、施設長にも助言をいただきながらこの研修を企画しました。

開催に当たっては、予想を超える30名近くの希望者にうれしい驚きと緊張を感じつつ、貴重な時間を使って参加して下さる方々にとって、研修が実践につながるように、少しでも参加して良かったと感じられるような雰囲気作り・内容を心掛けました。

セッションを通してCSPスキルの習得は勿論ですが、回を重ねるごとに自然と所属や経験年数を問わず積極的に意見を交わす場となり、相互理解やそ

それぞれの振り返りの場となったようにも感じました。また問題点だけでなく上手くいった事例についても共有することがモチベーションの向上にもなったという意見も聞かれました。時にはCSPだけではうまくいかない事例もありましたが、その際にも皆が意見を出し合って考え、トレーナー自身も学んだり元気付けられる場面も多くありました。

最後になりましたが、研修の趣旨をご理解いただきこのような機会を与えて下さった皆様、お忙しい中ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。

#### クラブ活動を通して

##### 「ソフトボールクラブ」

インジエキム 宮城 成行

ソフトボールクラブは、毎年8月に行われる施設親善球技大会に向けて活動しています。春先から大会まで、休日や夏休みの早朝に練習をします。小学4年生から高校3年生まで幅広い年代の子供たちが大会で優勝することを目指して頑張っています。

ソフトボールクラブのモットーは「全力プレー」「挨拶」「声だし」です。優勝を目指すことは勿論ですが、まずは生活指導の一環として、誰でも出来ることを全力で行なうことを指導しています。その上で、技術の向上や良い結果はついてくると考えています。約半年間、朝6時前に起きてグラウンドに来るだけでもすごいことだと思います。

一人ひとりの小さな成長も見逃すことなく評価し、ともに喜び、認めてやることで、子供たちには自信をつけてもらいたいと思っています。最後には優勝しチームで喜びたいと思います。



##### 「ダンスクラブ」

子供の町 今野 皓亮

現在ダンスクラブは、夏祭りの発表に向けて練習に動んでいます。今回の曲は EXILE の Cho Cho Train という曲です。

練習の際、ざわざわしていた雰囲気の中に突然振付の曲をかけ始めると皆が踊り出します。大抵の子が振付を覚えるのに必死です。覚えるのが難しく練習が嫌になる子もいますが、覚えた振付を合わせて踊ることができると、不安げな表情も笑顔に変わり、一体感も生まれ良い雰囲気になります。

全体を半分に分けて振付を見せ合う練習もします。人に見られると緊張感が生まれ、しっかりしないと、という気持ち生まれるようです。発表の機会が一つの目標ですが、たくさんの人に喜んでもらえる人になれるよう自分自身も成長できたらと思っています。躍らせてもらえることの感謝を忘れず、今後がんばっていきたいと思っています。



##### 新任職員紹介

平成26年度4月10人の新しい仲間を迎えました。そして5月、7月と新たに調理員、看護師さんを迎えることができました。自己紹介です

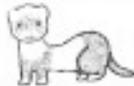
インジエキム 第5B寮 西村 洋平

平成26年度新任職員の西村洋平です。5B寮に配属になりました。昨年度末から、男児寮でアルバイトとして入らせて頂いていました。実習等を通して女児寮に入るのは初めてのことで、戸惑いながらも先輩方に支えられ、日々子供たちと関わっています。

私生活では、ハリネズミとフェレットを飼っていて、毎日愛でて元気をもらっています。バイクも好きで通勤に使っていますが、最近では暑さに負け、通勤

以外で乗ることはめっきり減ってしまい、涼しくなったらどこに行こうかと、思いを巡らせております。

マイペースな方の性格で、何事にもどっしり構えてしまい、周囲をヒヤヒヤさせてしまうこともしばしばありますが、今後も先輩方のお力をお借りしながら頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。



子供の町 ユニットゆり 熊谷未来

今年度よりお世話になっている、青英短期大学出身の熊谷未来です。4月から勤務させて頂き、模索する日々ですが、毎日とても充実しております。子供と関わり、向き合うことに想像以上の難しさを感じておりますが、先輩職員方のサポートのおかげで、学びを得ながら働くことができています。

自分らしい支援の方法を考えながら、これからもがんばっていきたいと思います。ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

インジエクトム 分寮 井上美穂

分寮に配属になりました井上美穂と申します。

日本体育大学で心身の健康とスポーツについて学び、現在児童養護施設に在籍する子供たちの心に寄り添えるような職員を目指しています。また、特技のスポーツなどを生かしながら、あらゆる方向から子供と関わっていきたくと思っています。

入社したばかりで至らない点が多いかと思いますが、ご指導のほどよろしくお願い致します。



インジエクトム 第5A寮 小坂井ゆきか

4月から5A寮に配属になった小坂井ゆきかと申します。出身は新潟県で、大学進学を機に埼玉県に引っ越して来ました。

学生時代に子供の町で交流のボランティアを行ってきた中で、子供たちが抱える悩みと向き合い、寄り添って、毎日安心して生活できる環境づくりを支援したいと考えるようになりました。

まだまだ未熟ではありますが、日々の生活の中で、子供たちと一緒に成長していけたらと思います。

子供の町 ユニットすみれ 橋本寛司

平成26年度新任職員として第1寮すみれに配属になりました橋本寛司と申します。

寮の方に配属され早くも4か月が経ち、趣味・特技がプラモデル作り・細かい作業が得意・また出身高校が工業高校ということもあり、子供たちからは玩具や道具を直して欲しいとよく頼りにされたりしています。また専門学校が大原学園ということでよく「本気になったら大原」と言われ期待されたりするのですが、その期待に応えられるような職員になれるよう頑張っていきたいと思っています。

よろしくお願い致します。



インジエクトム 第9寮 岩井実香

昨年からパートとしてお世話になり、今年の春より職員になりました岩井実香です。期待や不安がたくさんありますが、志を持って子供たちと関わっていきたくです。周りの職員の方々に支えられ、学びながらの毎日です。私が大切にしていることは、「気付く」ということです。子供たちや職員の方々から気付かせられることは多くあります。状況に応じて、今何が求められているのか、どのような行動が必要

なのかを考えながらやっていきたいです。私が好きなことは運動をすることです。以前、スポーツジムでインストラクターをしていました。

子供の町 第8寮 堀本彩之

こんにちは、8寮に配属になった堀本と申します。働き始めてあっという間に5か月が過ぎようとしています。私は前職で知的障害児・者の施設で働いていました。しかし、同じ子供たちの暮らす施設と言えども、子供は勿論様々な場面で違いがあり、戸惑いながらも日々学び、刺激的な毎日を送っています。

これからも、先輩や子供たちから多くのことを学び、楽しく一生懸命に過ごしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。



子供の町 ユニットあおば 小林芽伊子

今年度4月より子供の町の職員として、7寮あおばの担当をさせて頂いている小林芽伊子です。

子供の町にお世話になり始めてからの5ヶ月間、子供とのかかわり方の難しさを感じる日々ではありますが、先輩職員の皆様に支えられて頑張ることができました。

まだまだ未熟な私ですが、これからも先輩職員の皆様のご指導のもと、子供の気持ちの寄り添った関わりが出来るように努力していきたいと思っていますのでよろしくお願ひ致します。

子供の町 心理 漆野泰江

こんにちは、子供の町心理に配属になりました漆野泰江（うるしのやすえ）です。これまで何度か自己紹介の機会がありましたので、今回は心理職として自己紹介させて頂きたいと思います。

私の興味のある領域は、「脳と身体とこころの繋がり」です。具体的には、トラウマケアやレジリエンス（回復力）、コーピング（対処）などです。この夏はBASIC-PHというモデルのトレーナー資格を取りました。これは、クライアントの強みを速やかに理解可能とするモデルです。一日でも早く実践の場で活躍できるように頑張ります。

給食 調理師 石川尚嗣

5月から皆様のお食事を作るお手伝いをさせて頂きたくことになりました石川尚嗣です。

縁あってこの場所で働かせて頂いていますが、いまだ動続4ヶ月半、未熟のあまり至らないところが多くありますが、外で見かけたら気軽に声をかけて下さるとうれしいです。毎日の生活に役立つ知識から、暮らしの役に立つのかわからないトリビアまで、雑学集めが趣味です。これからこの場所で皆さまの生活の助けになる為に頑張っていこうと思っています。

どうぞよろしくお願ひ致します。



「子供の町あれこれ」

事務長 根岸 昇

- 新聞報道〔8月5日〕によると、平成25年度全国の児童相談所が対応した虐待相談件数は73,765件(速報値)。埼玉県・さいたま市は5,133件で全国第5位の多さです。埼玉県子ども安全課発表5,358件、前年度4,769件に比べて12.4%増。総件数で見ると1位大阪10,716件、2位神奈川県9,803件、3位東京5,414件、4位千葉5,374件(政令指定都市を含む)。前年度からの増加率で見ると1位鹿児島2.43倍〔231件〕、2位鳥取1.50倍〔155件〕3位愛媛1.49倍〔565件〕やはり全国的に増加傾向が続いていると言えます。
- 児童虐待相談件数の増加は埼玉県内の児童養護施設に在籍している子供たちの入所理由(主訴)は、平成26年度調査では入所理由(主訴)の50%が被虐待児童でした。さらに被虐待体験率は在籍児童の65%。子供の町・インジエリムの入所理由(主訴)は、平成26年4月調査で被虐待児童36.5%(体験率61%)です。
- 『虐待を受けた子供たちは、発見から通報のプロセスにおいては「大人から守られるべき傷ついた存在」である。もちろん児童養護施設に入所した後も「守られるべき存在」であることは言うまでもない。しかしもう一つの顔を持つようになることも事実である。それは「周りの子どもや大人を傷つける加害者、トラブルメーカーとしての存在」という全く相反するものなのである。』平成13年当時、寮舎を担当していた時に『子供の町だより』に書いた拙文の一節です。この初夏も、男児寮内で中3から中1への暴力行為があり、後から被害児の肋骨骨折が判明して傷害事件化した事案がありました。被害児・加害児両方を担当している職員は本当に心労が絶えません。心が折れないように願うばかりです。
- 子どもたちは、管理棟北側の空間でゴムボール遊

びをすることが多いのですが、管理棟屋上にボールを上げてしまい「取ってください」と事務所に言いに来ました。屋上に上がって見るとゴムボールの他にボール状の物がありました。なんと靴下を丸めてボール状にしたもの。よく確かめると白い糸で名前らしき文字が書いてあるのに気がきました。「〇〇キ」心当たりの子どもを呼んで確認するとその子の靴下だと判明しました。「今どき手縫いで靴下に名前をつけてくれる職員さんなんていないぞ！それなのにボールにして遊んだのか?!」と私。〇〇キくんは「しまった！」という顔つきで「〇〇子さんがつけてくれたんだけど・・・」。こういう職員さんが細やかな心配りをしながら日々子どもの養育に携わってくれていることこそが子供の町の大きな財産です。それを職員間でつないでいく営みが本来の〇JTです。

- 「何かお手伝いありますか？」夕方になると毎日のように男の子たちが来ます。「ゴミ捨ててきて！君は段ボールを片づけてくれる！」と女性事務職員。低学年の子たちが多いのですが、ときには中学生も。お目当てのご褒美は？！お菓子や飴などをあげる人が多いのですが、何よりも「有難う！助かるよ！」という感謝の言葉と人の役に立ち必要とされることを実感することにこそ意味があるのではないかと思います。
- 新入職員にとっては辛く長い夏休みが残りわずかです。退職なんて考えないでほしいな！





ヒタ飾り



子どもたちの貼り絵



島ぞうり作り体験

## 2014・夏の思い出



夏まつり・ちびっこおみこし



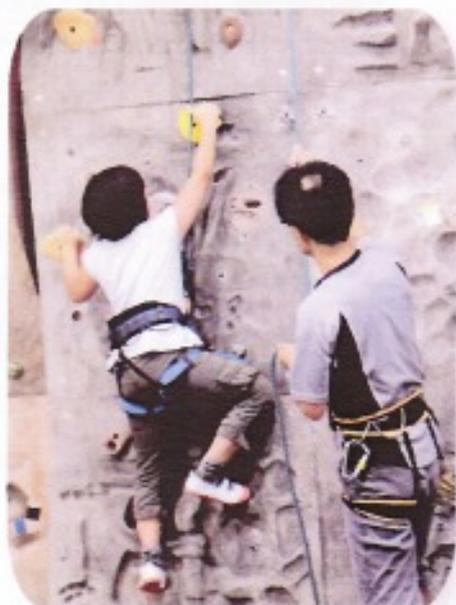
夏まつり



立山登山体験



埼玉県親善球技大会



H26年2月～H26年8月に寄付金・寄付品を頂いた方々(順不同・敬称略)

会田 光子	(株)日本組合開発	田中文男
荒木嗣則	(株)日本ワークシステム	チュチュアンナ
飯島信雄	(株)ヒイラギ	東武動物公園・みんなの夢事業
石川会計事務所 職員一同	(株)フィリップモリスジャパン	中村梨園
和泉屋菓子店	(株)マイコーポレーション	貴田 浩之
磯和 昌子	(株)みのや	ニュースキンジャパン&セカンドハーベスト
一般社団法人 霞会館	(株)リパティエステート	農家支援倶楽部
井上うたえ	興名ちから	長谷川 浩一
井上京美	埼玉県労働者福祉協議会	ハリナ
内堀医院	齋藤 貞子	松葉齋
大森機械工業(株)	佐藤 容	三浦 千賀子
小河麻衣子	三州製菓(株)	水野 みどり
長田 健	鈴木 美子	峯 昌之
カープス春日部ふじ通り店	セカンドハーベスト ジャパン	明治神宮崇敬会春日部支部
カープス武里店	太平 内牧夢らんど	焼肉 竜貴(代表 小林珂穂)
カープスマルエツノ割店	太平 かすかべ夢らんど	(有)ホームエレクトロニクス
カープスミスターマックス越谷店	太平 杉戸夢らんど	ゆうちょ銀行
カープス吉川駅前店	太平 平方夢らんど	和田 秀勝
(株)コストコホールセールジャパン新三郷店	太平プレイランド関宿店	

子どもたちのために、たくさんのご支援ありがとうございました

子供の町後援会からお知らせ

例年、明治記念館でのチャリティーバザーですが、今年は、平成26年11月6日(木)に開催いたします。  
 後援会では、皆様の会費やバザーの収益等で子どもたちの自立支援や進学支援を行っています。施設を出てからの生活基盤を準備することは、とても大変な事です。少しでも、子どもたちの不安を取り除いてあげたいものです。  
 また現在、2名の大学生が後援会からの奨学金を受けながら、自分の夢に向けて頑張っています。後援会の役員・会員の皆様、職員の応援は、とても大きな支えになっています。

新会員のご紹介

柴本順子様 板谷敏正様 多田雅之様 神向寺桃子様

後援会へのお問合わせ 事務局 TEL 048-746-0206